



担当課	① 環境政策課	② 青岸清掃センター 農林水産課	③ 下水道施設課
担当者	和田	野上 中兀	中村
電話	073-435-1114	073-428-4153 073-435-1049	073-435-1095
内線	2618	7129 2823	5360

令和5年10月10日

和歌山市の脱炭素の取組が本格化

脱炭素社会の実現と循環型社会の形成を目指した取組が拡がり、本格化しはじめています。今後、更にこの取組を推進し、オール和歌山市で環境にやさしいまちづくりを進めていきます。

① 民間の創エネ・省エネが加速しています -今年度から実施している補助金が好評です-

- 再生可能エネルギーを利用したEV車の普及
補助金が想定より早く3か月間で予定台数30台に到達するなど、EV車の普及が進んでいます。
- 太陽光発電設備・蓄電池、エネファーム導入補助
脱炭素重点事業として8/1から受付を開始し、2か月間で予算の8割に到達（10/6現在）

補助対象設備	予算額	申請受付額	件数	割合	予算残額
事業所向け太陽光発電設備	800万円	550万円	2件	69%	250万円
個人宅向け太陽光発電設備	2,100万円	1,370万円	36件	65%	730万円
家庭用蓄電池	1,860万円	1,680万円	32件	90%	180万円
エネファーム	600万円	600万円	20件	100%	0万円
合計	5,360万円	4,200万円	58件	78%	1,160万円

太陽光発電設備と蓄電池をセットで導入した場合、消費電力の約5割をカバー

脱炭素と併せ、エネルギーの高騰対策にも効果発揮

さらなる創エネ・省エネの拡大へ

② し尿・浄化槽由来の汚泥の堆肥化による再生利用を進めています

-焼却予定の汚泥で遊休農地の解消へ

実証実験により、10月5日に遊休農地（和歌山市弘西）への作物の植付けを行いました。今後、生育状況を見守り検証していきます。



遊休農地への白菜・キャベツの植え付け

令和5年度は300tの汚泥を堆肥化

環境にやさしい肥料の安定供給・地産地消（市産化）へ

遊休農地の解消へ

③ 官民連携（PPP）による下水汚泥処理

脱炭素B-DASHプロジェクトの本格運用と下水汚泥の堆肥化を組み合わせ進めます。

PPPによる下水汚泥の脱炭素化

革新的技術（B-DASHプロジェクト）
 ・下水汚泥の低含水化による自然運転⇒省エネ
 ・低温熱源を用いたバイナリ発電⇒創エネ再生利用
 ・下水汚泥の堆肥化

下水道施設の脱炭素化